事業名称　山根荘演芸会「里神楽公演」　　主催　毛呂山町老人福祉センター山根荘　社会福祉法人 埼玉医療福祉会
江戸里神楽公演学生実行委員会スピンアウト資料01

山根荘神楽公演解説プログラム　2018.12.13

ご　挨　拶

本日は、毛呂山町老人福祉センター山根荘が地域の皆様向けに企画させていただきました、「伝統芸能を楽しく、わかりやすく、学ぶ」事業にご来場いただきまして、まことにありがとうございます。

山根荘は、介護予防、健康体操をはじめとして、高齢者の生活にかかわる様々な課題を自由で明るい文化活動を通して改善していこう、という目的で昭和52年４月に開設され、今日に至っています。

山根荘の多彩な活動ぶりは『広報もろやま』、や「ゆずの里ケーブルテレビ」など地元メディアを通してご紹介しているとおり、シニアの生活向上及び地域社会の発展に貢献してまいりました。

山根荘は設立当初からタイムリーなテーマを取り上げ、どなたでも受講でき、気軽に意見交換ができる「楽しくて、わかりやすい講座」を開講してきました。

本年度は「特別公開講座」という位置付けで、地域に伝わる民俗芸能で最も親しまれてきた里神楽に焦点をあて、その成り立ちや神楽芸の様相について専門的見地からの講義と、実際に演じ手（伝承者）をお招きし鑑賞していただくプログラムを用意しました。人々の娯楽の多様化、社会環境が変化していくなかで継承に向けて懸命に活動されている坂戸市塚越の国指定選択無形民俗文化財「大宮住吉神楽」の姿をお届けします。なお、会場では神楽写真展並びに神楽面展示を同時に開催しております。併せてお楽しみください。

2018年12月13日　　毛呂山町老人福祉センター山根荘

施設長　渡　辺　清　文

ご　挨　拶

本日は、毛呂山町老人福祉センター山根荘にお招きいただきまして、まことにありがとうございます。

お隣の坂戸市塚越にあります、大宮住吉神社に伝わる里神楽を私ども塚越の氏子が神職から継承して、言い伝えでは100年以上経過しているとのことです。私自身も中学生の頃神楽師仲間に入り、今日まで約70年も神楽に親しみ、神楽の継承に対しても先輩と同じように支援してまいりました。今もこうして元気に活動できるのは、神楽に関わったお陰だと感謝しております。

さて、この度、毛呂山町で神楽を奉納させていただくお話をいただきましたとき、約50年前となりますが、流鏑馬行事の祭礼の折に出雲伊波比神社の神楽殿で神楽を奉納させていただいたことを思い出し、とても懐かしく思いました。若手の神楽師にとりましても、本日のような公演機会は記憶されていくと思っています。

今回、奉納させていただく神楽の座（演目）ですが、古事記に記述されている出雲神話で最も有名な「遠呂智退治」と同じく古事記上巻の最後に記述されている海幸山幸神話から取り出した「海辺産屋」の二つです。いずれも大きな神楽ですから、九月から稽古を重ねて本日を迎えることができました。どうぞ、これを機会に大宮住吉神社に神楽見物にお越しくださいますことを神楽師一同、願っております。

最後に、山根荘公演実現にご尽力いただきました毛呂山町、坂戸市の教育委員会様、また毛呂山町老人福祉センターの皆様には心より御礼申しあげます。

2018年12月13日　　大宮住吉神楽保存会

会長　小　室　利　夫